起業期待の研究に助成

千葉大で教員、大学院生ら15人に
なのはなコンペ

長崎電子記念財団が、千葉大で教員、大学院生ら15人になのはなコンペの賞金を贈った。このコンペは、千葉大の西千葉キャンパスにおいて、教員、大学院生に向けたコンペで、今年度の助成状況を含めて、研究資金を助成している。

特に、予防に関する研究に取り組む研究者に特別に賞金が贈られている。この賞金は、千葉大の予防医学研究に寄与することが期待されている。

一方、200万円の助成が行われた事例としては、成長期の企業に向けた研究が挙げられる。この研究では、AI技術と医療の組み合わせを試み、新たな医療機器の開発を目指している。

以上の事例は、千葉大が研究の拡大を目指す一助となり、研究者たちの意欲を高めることが期待されている。